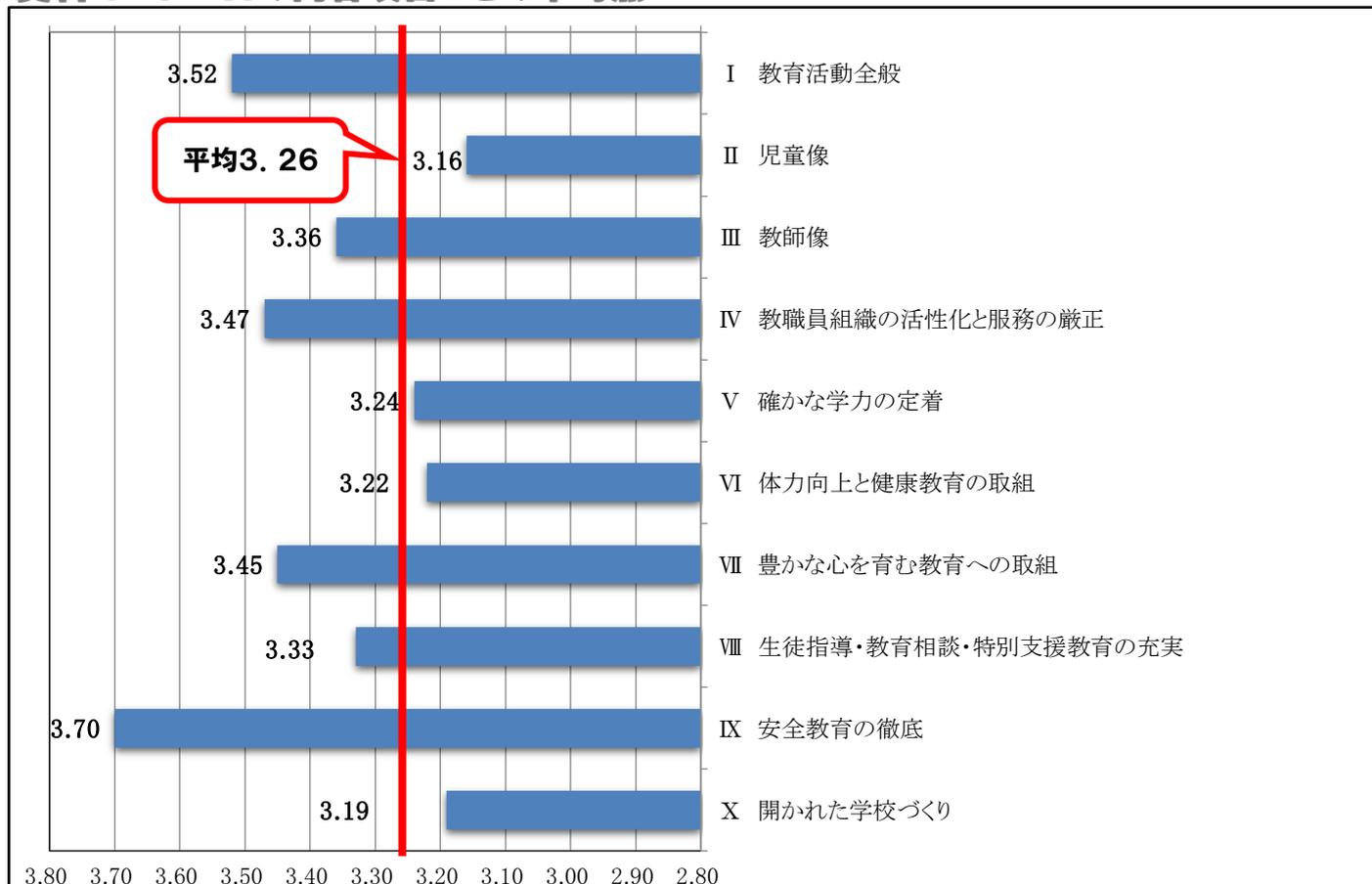


令和6年度 原市南小学校学校評価（教職員）

I～Xの10分類の評価項目を、内容ごとに細分化した50項目で評価した。各項目は、4点法（4：そう思う 3：だいたいそう思う 2：あまり思わない 1：思わない）で評価し、点数化した。

資料1 I～Xの内容項目ごとの平均点



<結果の概要と考察>

全体の平均点は、3.26（達成率82%）であり、学校教育目標「よく励む子 心さわやかな子 粘り強い子」が実現され、教職員は校長の経営方針「信・敬・慕を兼ね備えた魅力ある教師」を意識して、日々の教育活動に取り組んでいるということが明らかになり、学校運営協議会委員の皆様からも、同様の評価を得ていることが明らかになった。

○特に、達成度が高い項目は、以下の4項目である。

IX 安全教育の徹底	3.70	（達成度93%）	学校関係者評価	4.00
I 教育活動全般	3.52	（達成度88%）		4.00
IV 教職員組織の活性化とサービスの厳正	3.47	（達成度87%）		3.55
VII 豊かな心を育む教育への取組	3.45	（達成度86%）		3.55

●達成度が低かった（8割を切っている内容項目）は以下の2項目である。

II 児童像	3.16	（達成率79%）	学校関係者評価	2.50
X 開かれた学校づくり	3.19	（達成率79.7%）		3.00

資料2 各内容項目を細分化した 50 項目の分布と平均点

No		質問項目	平均	内容項目ごとの平均
I 全般	1	令和6年度の学校経営方針に基づき、主体的に行動するとともに、他の教職員と協力して指導、業務に当たっている。	3.52	3.52
II 児童像	2	本校では「よく励む子」自ら考え、様々な人と協働しながら主体的に課題を解決していく児童が育っている。	3.26	3.16
	3	本校では「心さわやかな子」多様な考えを認め、自己を律することができ、他人を思いやることができる児童が育っている。	3.30	
	4	本校では「粘り強い子」心身ともにたくましい児童が育っている。	2.91	
III 教師像	5	本校では、「褒め、認め、自己肯定感を育てる教師」の具現化が図られている。	3.26	3.36
	6	本校では、「情熱と使命感をもって、創造性豊かに取り組む教師」の具現化が図られている。	3.35	
	7	本校では、「児童に寄り添い、温かい人間関係を築ける教師」の具現化が図られている。	3.48	
IV 教員組織 服の務活 の性 厳化 正と	8	校務分掌において、組織の一員として率先して活動し、計画的、創造的に学校運営に参画している。	3.26	3.47
	9	教育公務員としての自覚ある服装や言動をしている。	3.52	
	10	倫理確立委員会等を通じて、当事者意識をもって事故防止対策(教職員事故、不祥事根絶)に取り組んでいる。	3.78	
	11	働き方改革を意識して業務の見直しや効率化を図り、自身の心身の健康管理に取り組んでいる。	3.30	

No		質問項目	平均	内容項目ごとの平均
V 確かな 学力の 定着	12	児童の意欲を高め、主体的な学習となるよう、教職員自己評価シートを日常的に活用し、指導方法の工夫、改善を行っている。(適切に業務を遂行するために、自己評価シートを日常的に活用し、業務の工夫、改善を行っている。)	2.96	3.24
	13	学校課題研究に積極的に参画し、協力して図画工作科における指導力の向上に努め、学んだことを他の教科・領域の指導にも生かしている。(学校課題研究に積極的に参画し、協力している。)	3.43	
	14	日々の授業改善 各時間めあてや課題を明示し、児童に学習の見通しをもたせるとともに、児童自身の言葉で振り返りを行わせている。	3.29	
	15	日々の授業改善 課題解決や話し合い(自力解決)の時間を確保するとともに、課題解決のために個別(グループ)への支援や声掛けを行っている。	3.41	
	16	日々の授業改善 授業の開始、終了を守り、導入・展開・まとめのバランスを考えた授業を行っている。	3.32	
	17	日々の授業改善 1時間の学習の流れがわかる板書を作成するとともに、児童の実態に応じて学習の記録が残せるように指導(ノート、ICTの活用等)している。	3.41	
	18	日々の授業改善 一人一台端末を活用し、課題解決や発表、習熟に生かしている。(1日2時間以上、月1回以上の家庭学習での活用)	2.52	
	19	個々の実態に応じて、児童の成長や努力を適切に評価し、児童に伝えている。	3.48	
	20	学習規律を定着させるために日常的・継続的指導している。(礼、返事、発言、聞き方等)	3.48	
	21	教室や特別教室の環境(整頓・清掃・掲示)を整備し、集中して学習しやすく、潤いのある環境をつくっている。(職員室、事務室等の環境を整備し、働きやすく、潤いのある環境をつくっている。)	3.17	
	22	学年や児童の実態に配慮した上で、「家庭学習」の習慣化を図るための指導を継続して行っている。	3.23	
23	学級や児童の様子や担任の思いを保護者に伝える学級通信を継続的に発行している。(月1回以上)	3.24		

No		質問項目	平均	内容項目ごとの平均
Ⅵ 体力 健康向 教上育 との 推進	24	体育の授業において、体を動かす楽しさを味わわせてながら活動時間を確保し、体力向上を図っている。	3.14	3.22
	25	体育部を中心として、体力向上の推進(体カアップタイム等)に積極的に取り組んでいる。	3.14	
	26	養護教諭と連携し、計画的に保健指導を行っている。	3.36	
	27	栄養技師と連携し、給食を活用した計画的な食育指導を行っている。	3.23	
Ⅶ 豊 教か 育な への 心 の を 取 育 組 む	28	児童が居場所や安心感を感じ、のびのびと生活できる学級経営や授業を行っている。(児童主体の活動・係・当番活動等の充実、肯定的な言葉掛け、失敗を生かせる雰囲気づくり)	3.41	3.45
	29	道徳的価値を意識して計画的に道徳の授業や道徳教育を行い、児童が様々な角度から自分自身を考察し、自分なりに考えを深められるようにしている。	3.23	
	30	児童・保護者が相談しやすい雰囲気をつくるとともに、思いを受け止め、誠実に対応をしている。	3.65	
	31	人権課題を意識して日常の指導を行い、計画的に人権感覚育成プログラムを取り入れた授業を行っている。	3.18	
	32	児童の長所や頑張り、意欲的な取組をとらえ、積極的に認め、児童や保護者(または関係する教職員)に伝えている。	3.52	
	33	豊かな心を育てる教育活動の意義を伝え、積極的な参加を促している。(あいさつ、読み聞かせ、音楽朝会、イングリッシュカフェ等)	3.68	

No		質問項目	平均	内容項目ごとの平均
Ⅷ 生 特 徒 指 導 支 援 ・ 教 育 の 相 充 談 実 ・	34	原市南小よい子のきまり、生徒指導マニュアル、いじめの防止基本方針等を理解の下、生徒指導等委員会が中心となり、共通の指導を組織的に継続して行っている。	3.43	3.33
	35	継続した指導や声掛けを行い、重点目標「あいさつを「いつでも」「どこでも」「だれとでも」できるようにしよう」を身に付けさせている。	3.22	
	36	継続した指導や声掛けを行い、重点目標「廊下、階段は右側を静かに歩こう」を身に付けさせている。	3.17	
	37	継続した指導や声掛けを行い、重点目標「黙働清掃をしっかりと行おう」を身に付けさせている。	2.91	
	38	継続した指導や声掛けを行い、重点目標「言葉遣いに気を付けよう」を身に付けさせている。	3.17	
	39	トラブルや怪我、事故については、管理職及び関係主任に報告・連絡・相談を速やかに行い、ケースに応じて組織的な対応を行っている。必要に応じて特別支援教育コーディネーターやSC、民生委員、関係機関への連携を図っている。	3.48	
	40	生活アンケートや日常の観察などから不安を抱える児童を発見し、組織的な対応でいじめや不登校の防止を図っている。	3.68	
	41	出席状況を把握し、欠席が続いた時点で連絡や面談を行い、不登校・長欠の防止を図っている。	3.59	
Ⅸ 安 全 教 育 底 の	42	安全部を中心とした安全指導(交通安全、避難訓練等)を計画的に行い、児童の安全意識を高めている。	3.61	3.70
	43	安全点検の計画的に実施するとともに日常的な環境整備を行い、児童の事故防止や避難経路の確保、不審物に気付ける環境づくりに取り組んでいる。	3.70	
	44	首より上の怪我については管理職、養護教諭に即報告し、保護者対応や救急対応を行っている。	3.87	
	45	危機管理マニュアルを理解し、アレルギー対応、心肺蘇生法研修会を通じて、緊急時の行動が取れるようにしている。	3.61	

No	質問項目	平均	内容項目ごとの平均
X 開 か れ た 学 校 づ く り	46 授業参観や行事を通じて、学校経営、教育活動を積極的に公開している。	3.55	3.19
	47 家庭・地域の教育力を活用(学校応援団・保護者ボランティア等)している。	3.04	
	48 保護者・地域への情報発信(学校HP・さくら連絡網の活用)を積極的に行っている。	3.39	
	49 チラシ配布時等、PTA・地域行事への積極的な参加を児童に働きかけている。	3.18	
	50 原市中学校区での小中一貫教育について情報を収集し、9年間の学習面や生活面の系統性を考えている。	2.78	

<結果の概要と考察>

内容ごとに細分化した50項目での評価は、以下のような結果になった。

○肯定的評価	100%	12項目	計45項目(達成率90%)
	90%以上	27項目	
	80%以上	6項目	

達成度が100%であった項目は、以下の通りである。

- 5 褒め、認め、自己肯定感を育てる教師の具現化
- 7 児童に寄り添い、温かい人間関係築ける教師の具現化
- 9 教育公務員としての自覚
- 10 当事者意識をもった事故防止対策、不祥事根絶
- 15 自己解決・話し合いの時間の確保
- 19 児童の成長や努力の適切な評価
- 20 学習規律の定着
- 33 豊かな心を育てる体験ができる行事や活動の設定
- 34 生徒指導委員会を中心とした組織的、計画的な生徒指導
- 40 いじめ、不登校への組織的対応
- 42 安全部を中心とした組織的・計画的な安全指導の実践
- 43 安全点検の計画的な実施および日常的な環境整備
- 44 首より上のけがの適切な対応

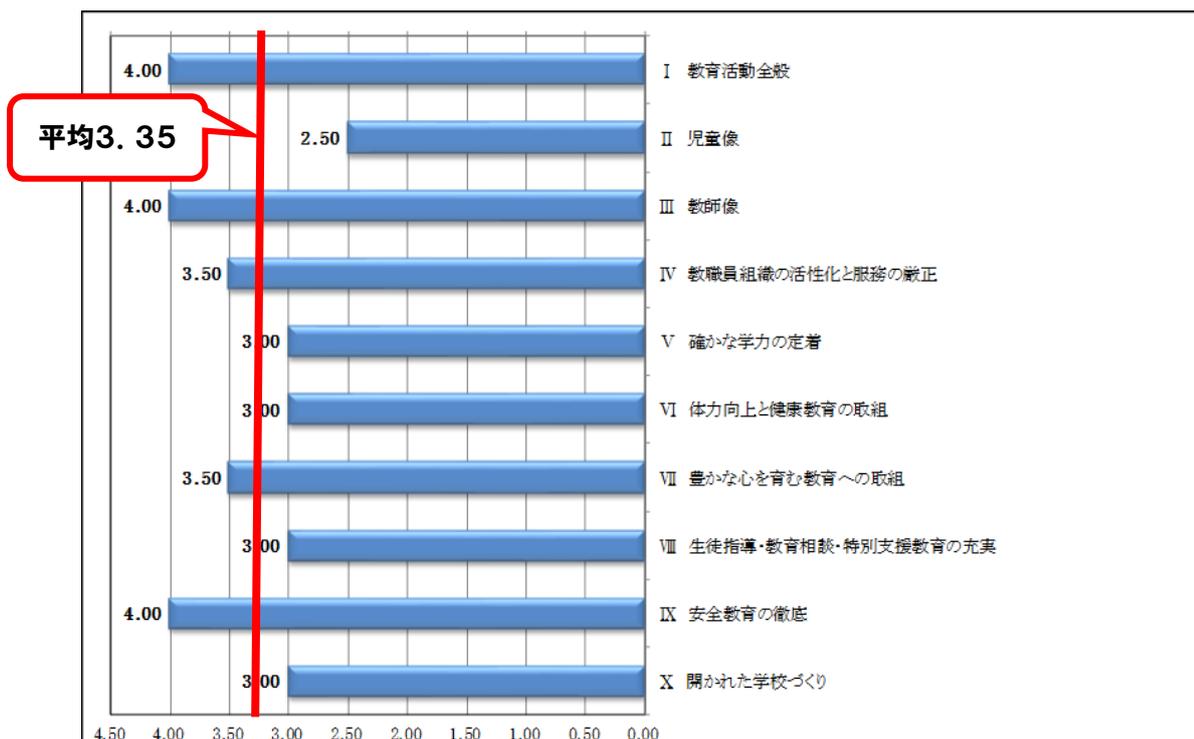
●否定的評価 20%以上 6項目

非達成度が20%以上であった項目は、以下の通りである。

- 4 学校教育目標「粘り強い子」の実現
- 12 自己評価シートに基づいた指導・業務の工夫改善
- 18 ICT 端末の積極的な活用
- 24 たくさん体を動かし、運動を楽しめる体育の授業の実践
- 25 たくさん体を動かし、運動を楽しめる機会の設定 (体力アップタイム等)
- 37 重点目標③黙って一生懸命、清掃をしている。
- 50 小中一貫教育への取組

非達成度が20%以上の項目については、今年度の課題点とし、次年度の教育活動において、計画的・組織的に実行できるよう、2月26日各教科部会において、改善点を話し合った。来年度当初に予定されている教科部会において、改善点を再度共有し、令和7年度の教育課程に反映していく予定である。

資料3 学校関係者評価（学校運営協議会委員）



<学校関係者(学校運営協議会)評価コメントより>

学校運営協議会委員の皆様より、本校学校評価の妥当性について評価いただき、平均3.35（達成率83.8%）という評価をいただくことができた。また下記のご意見もいただいた。

○校長先生、教頭先生をはじめ、教職員の皆様の児童1人1人に対する熱心な教育を近くで拝見させていただき、母としてまた1人の人間として、感謝の思いがあふれています。たくさんの方々の子供たちのために力を貸して下さい、安心、安全に生活できていると感じました。更に学校、家庭、地域が交流を深め、コミュニケーションを図り、1人ももれることなく、児童育成にあたっていただけると強く思います。

○良い評価が多い事、学校として多くの取り組み、教職員の指導の結果かと思えます。

○学校教育目標「心さわやかな子」の実現に取り組んでいることが良く理解できます。

○児童に寄り添い温かい人間関係に築ける教師の具体化の実現に取り組んでいることがわかりました。

○教職員組織活性化とサービスの厳正については、高い意識を感じます。

○ICT教育は授業や様々な活動に有効活用されており、オンライン授業を通して不登校だった児童が登校できたり、興味をもったりすることにより、あきらめなくて取り組む姿勢につながっていると感じました。更なる発展を期待しています。

○開かれた学校づくりについては、子供たちのために心ある方々の連携が不可欠だと感じました。

●粘り強い子の実現に関して学校、家庭が連携し、次年度へつながっていくことを願います。

●課題の解決に向けた手法に「楽しさ、ゲーム性」を取り入れてはどうか？どうやったら興味をもち、楽しみながら取り組むことができるか？やらされ感があると上手く行かないと感じます。

●必要に応じ、検討を重ねることで、より良い体育、運動の機会が増えると良いですね。

●豊かな心を育む教育の取組については、教職員と児童、保護者で評価に少し差があり、気になりました。学校側の努力がうまく伝わることを望みます。

●学校重点目標については、保護者のリアルな視線を強く感じました。35～38はできてほしいという願望と、現実とで「あまり思わない」を選択された方が多かったのかなと思いました。

●保護者には見えない活動の評価が難しい事もあるかと思えます。見える工夫や、児童の意識向上を期待します。

●小中一貫教育について、保護者として不安に感じる事もありますが、これまで通り保護者への情報発信など、学校の取組や活動への理解を広めていただきたいと思います。